



ならっ子だより



守ろう、地域の子どもたち 毎月17日は「子ども安全の日」です。



教育センターのプラネタリウムで、1300年前の奈良時代の星空を見たよ。

奈良と天文の関わりについて、調べてみました。



奈良と天文のおはなし



奈良には、昔から大切に守り伝えられているものがたくさんあります。それらの中には、宇宙や天文に関わりが深いものも少なくありません。



薬師如来の台座の朱雀

例えば、薬師寺の本尊薬師如来の台座には、中国の四方四神（東に青龍、南に朱雀、西に白虎、北に玄武）の彫刻がなされています。四神とは、中国の神話で天の四方を司

るとされている霊獣で、星宿（今の星座）を組み合わせて描かれたものです。また、東大寺の正倉院に北斗七星が彫金された呉竹鞘御杖刀という七星剣が保管されていたり、万葉集に星のことを詠んだ歌がたくさんあるのと、奈良と天文との関わりを示すものを数えあげればきりがありません。

平城京の都全体のつくりもそのひとつです。平城京は、都全体が東西南北に伸びた道で碁盤の目のように美しく区切られていました。このことは、

奈良時代の人が方位を正確に把握していたこと、優れた測量技術をもっていたことを示しています。方位を正確に知るためには、太陽や月、星たちの動きを正しく測ることが必要です。そのための知識や技術（天文学）は、他の学問や宗教とともに、当時の中国や朝鮮半島から伝えられました。

ところで、奈良時代の人たちが見ていた星空は、どのようなものだったのでしょうか。

教育センターのプラネタリウムでは、投影前に、日付や時間、場所をリクエストすると、その星空を見ることができます。

奈良時代の星空は、すべての星座の位置が今とは少し違っていましたが、今では奈良で見ることができない南十字星も、季節によっては南の空にその

端っこを少し見ることができました。同じ奈良の星空も1300年たつと変わってしまうなんて、おどろきですね。



感謝しております。... 地域主体の「飛鳥子ども安全ネットワーク」が組織されて6年目。いつも子どもたちを温かく見守っていただき、感謝しております。



児童の育成に努めています。児童の規範意識や社会性の向上を図るため、具体的な活動として、①あいさつをしよう②時間を守ろう③靴やスリッパを揃えよう④右側を歩こう、の4項目を定め、毎月のがんばりを確かめながら、全校で取り組んでいます。

学校紹介

飛鳥小学校の巻
本校は、創立138年と大変古い歴史のある学校です。近くには世界遺産の東大寺などがあり、ならまちや新薬師寺にも近く、世界遺産学習には最適な位置にあります。



【問合せ】教育支援課 (☎0742-36-0401)